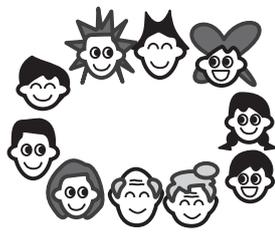


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



平成29年2月号
発行人:津谷歯科医院
院長:津谷良
住所:岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話: 0120-779-418
配信代行:訪問歯科診療を広める会

皆さんこんにちは! いかがお過ごしですか?
津谷歯科医院、院長の津谷良です。

高齢になると全ての歯が揃っている方は少なく、様々な治療あとや歯ぐきの退縮のため普通の歯ブラシだけできれいに磨くことは難しくなります。しかし磨き残しはむし歯や歯周病、誤嚥性肺炎等の原因となるので、できるだけきれいに磨きたいものです。そのためには、汚れが残りやすい場所をよく知ることです! 高齢者の場合、磨き残してしまう主な場所は、①広がった歯間部②ブリッジと歯ぐきの隙間③部分入れ歯のばねをかける歯④残根(ざんこん)⑤飛び飛びの歯です。こんな時は、普通の歯ブラシの他に、これらの場所を磨くのに適した専用の歯ブラシを追加することで、とてもきれいに磨くことができます。そこで今月は「歯間ブラシとタフトブラシ」をご紹介しますと思います。



こんな部位には歯間ブラシ!!

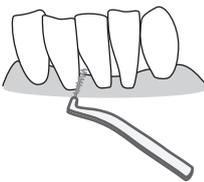
歯間ブラシとは、先端のワイヤーにブラシが付いていて、主に歯と歯の隙間を通して汚れを取り除くブラシです。普通の歯ブラシと併用することで、歯垢除去効果が1.5倍になるといわれています。歯間ブラシは使い方とサイズを誤ると歯や歯ぐきを痛めることがあるので、初めての方は使用前に歯科医師又は歯科衛生士に相談していただくことをおすすめします。



歯間ブラシ

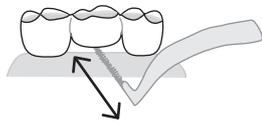
① 広がった歯間部

高齢者は歯周病等が原因で、歯ぐきが退縮して(下がって)、歯と歯の隙間が開いてきます。特に歯ぐきに近い根元は、歯間ブラシが効果的です。



② ブリッジと歯ぐきの隙間

ブリッジは歯磨きの時、特に磨きにくい場所の一つです。ブリッジと歯ぐきの隙間、ブリッジの支柱となっている歯の根元は歯間ブラシで丁寧に磨きます。



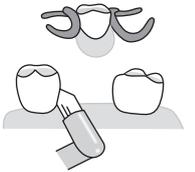
こんな箇所にはタフトブラシ!!

タフトブラシとは、柄の先端が円すい状のブラシになっていて、普通の歯ブラシが届かない場所まで簡単に毛先を到達させることができます。



タフトブラシ

③ 入れ歯のばねをかける歯
入れ歯のばねをかける歯の内側(入れ歯と接する面)は、普通の歯ブラシでは横から入れなければならないので、どうしても磨き残してしまいます。



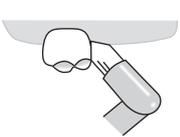
④ 残根(ざんこん)

むし歯が進行すると、歯の頭の部分はすっかり無くなって、根っこだけが歯ぐきに埋没するような形で残っている残根はその表面が凸凹していて、歯ブラシが届きにくいので、タフトブラシがおすすめです。



⑤ 飛び飛びの歯(孤立歯)

歯が抜けてしまうと、残っている歯は、その周囲をぐるっと磨かなければなりません。側面と咬合面は今まで通り磨けますが、手前や奥面は普通の歯ブラシでは困難です。



◆ 年齢とともに変わるお口の中の状況に応じて最適な歯科清掃用具を使いましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとても増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただけなのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)
診療科目 歯科 小児歯科
休診日 木曜・日曜・祝祭日
院長 津谷良
岡山市中区海吉1807-14